

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第1区分

【発行日】平成17年3月17日(2005.3.17)

【公開番号】特開2002-346390(P2002-346390A)

【公開日】平成14年12月3日(2002.12.3)

【出願番号】特願2001-373977(P2001-373977)

【国際特許分類第7版】

B 01 J 23/755

B 01 J 23/46

B 01 J 23/75

B 01 J 23/78

B 01 J 25/00

B 01 J 27/057

C 07 C 29/09

C 07 C 31/20

// C 07 B 61/00

【F I】

B 01 J 23/74 3 2 1 Z

B 01 J 23/46 3 0 1 Z

B 01 J 23/78 Z

B 01 J 25/00 Z

B 01 J 27/057 Z

C 07 C 29/09

C 07 C 31/20 Z

B 01 J 23/74 3 1 1 Z

C 07 B 61/00 3 0 0

【手続補正書】

【提出日】平成16年4月8日(2004.4.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0172

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0172】

実施例21：シリカ担持Ru触媒の調製

ルテニウム元素を3.969重量%含有する硝酸ルテニウム水溶液6.630gをビーカーに計りとり水溶液(4)とした。シリカ担体(CARiACT Q-15)10.00gを水溶液(4)を調製したビーカーに加え、水溶液(4)の全量をシリカ担体に吸収した。

水溶液(4)を吸収したシリカ担体を窒素気流下100で1時間乾燥した。その後、水素気流下400で2時間還元し金属ルテニウム担持触媒を得た。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0182

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0182】

実施例25：シリカ担持Ni触媒の調製

硝酸ニッケル6水和物2.752gをビーカーに計りとり、ここに脱イオン水3.50gを加えて溶解し水溶液(5)を調製した。シリカ担体(CARiACT Q-15)5.00gを水溶液(5)を調製したビーカーに加え、水溶液(5)の全量をシリカ担体に吸収した。

水溶液(5)を吸収したシリカ担体を窒素気流下100で1時間乾燥した。その後、水素気流下400で2時間還元し金属ニッケル担持触媒を得た。